

## 第2章 平成20年度（2008年度）の実施状況

### ●子どもと本をつなぐ地域交流会

#### 南部地区交流会

平成20（2008）年11月に庄内公民館にて南部地区の地域交流会を行いました。参加人数は23名と昨年より減少しましたが、これは近隣の保育所などの行事と重なったことが原因としてあげられます。しかしながら南部地区の小学校で読み聞かせをされている3校のボランティアの方が交流会終了後に話し合いを持たれるなど、交流のきっかけの場となりました。

当日は障害児通園施設の保育士や保健センターの保健師、学校司書や読み聞かせボランティアから活動報告をうけ、その後グループごとに活動の中で感じる課題やその解決方法について話し合っていました。

当日のアンケートからは「他の団体の方のお話が聞けて参考になった」というご意見のほかに、グループごとの話し合いのとき同じ学校のメンバーが一緒になってしまったこと、参加者が少なくて残念であったことなどの意見がありました。次年度からは早めにPRを行うことが課題と考えられます。



#### 東部地区交流会

平成20（2008）年11月に千里文化センターコラボにて東部地区の地域交流会を行いました。まず地域で活動されている保健師と小学校での読み聞かせボランティアの方から活動内容について発表していただきました。その後グループごとに分かれ豊中市内の白地図にそれぞれの活動を書き込み、課題を共有しながらその解決方法について討議を行いました。子どもの読書については親子で楽しむことが大切といった意見のほかに、保健師の方から現代の子育てのありようについて情報提供があったせいか、地域での子どもや子育て中の保護者をとりまく様々な課題が出されました。そういった課題を解決する方法の一つとして、たとえば図書館などの公共の場を使って、誰もが参加でき、情報を得られる取り組みを実施しては、といった提案もありました。

当日はおはなしボランティアのほか、学校での読み聞かせグループ、子ども文庫の世話人のほか、



書店主や保健師など、幅広い活動分野の方々のご参加をいただきました。集約したアンケートからは「他の学校、他の地域の活動がわかってよかった」「他の団体と交流できてよかった」との声があった一方、「時間が足りない」「参加人数が少なくて残念」といったご意見もありました。

#### 中部地区交流会

平成20（2008）年12月に岡町図書館にて中部地区の地域交流会を開催しました。読み聞かせボランティア、子ども文庫の世話人や学校司書、地域の子どもにかかわる保健師など、さまざまな子どもや読書に関わる市民、職員が参加しました。昨年までの交流会で課題は出されるもののその解決まで議論が至らないというご意見を受け、昨年度までの交流会で出された課題について、この1年どのような取り組みがなされたのか、振り返りの機会を持ちました。

さらに参加者による地域の課題を共有するため、課題に対してどのような解決方法があるのかグループごとで話し合ってくださいました。グループごとでの意見としては多くの施設でも小学生の参加が減っていること、図書館や施設から遠い地域の課題などが討議されました。参加者のアンケートからは「連携をとっていくということの実践ができ、心強く思う。このつながりを地域支援の中で生かしていきたい」というご意見のほか、「もっと問題点を絞って話し合ったらどうか」という指摘もいただきました。他の地域の交流会と同様、これから活動を始めたいという方も参加しておられ、この交流会が新しく活動を始めたい方への情報提供を行う支援の場ともなっています。

#### 北部地区交流会

平成21（2009）年1月に教育センターにて北部地区の地域交流会を開催しました。「取り組みの中で見つけた子どもと本のエピソード」について学校司書や読み聞かせボランティア、地域の保育所や障害児通園施設の保育士、とよなか国際交流協会からの発表を行っていただきました。その

後グループごとに分かれ、地域での課題やその解決方法について討議を行いました。読みきかせのボランティアからはメンバーがなかなか集まらない、地域での人と人とのつながりが希薄になっていること、また多文化共生の活動にかかわる方からは外国語の図書が不足している点などがあげられました。また文庫へやってくる子どもの数が減少していることや図書館から遠い地域の課題などもありました。



当日のアンケートからは「いろんな立場の方のおはなしが聞けてよかった」「これからも交流会の輪が広がっていけば子どもたちにそれがかえっていくように思います」といったご意見のほか、「グループでの話の時間がもう少しあれば」「問題点ばかりが上がり、解決にいたらなかったことが残念」といった交流会の運営に関するご意見もありました。

#### 平成20年度（2008年度）まとめ

平成20（2008）年度の地域交流会では活動発表とともに、「地域で活動する中で困ったことや課題を共有する、そして解決するためにみんなで知恵を出し合う」ことを目的にグループでの討議を行いました。また一部の参加者から出された、「交流会では課題は出されるが解決には至らない」といったご意見に対して、この1年で昨年までの課題に対してどのような取り組みが行われたのか、振り返りの機会を持ちました。

交流会の中では様々な課題があげられました。中高生への取り組みが少ないこと、図書館や子育て支援センター、子育てサロンに参加する親子はいいが、出てこられない親子についてはどのようなことができるか、あるいは障害のある子どもや外国人の子どもに対してはどのような支援が必要なのかなど、さまざまな意見が出されました。これらの課題について現在おこなっている取り組みの中で解決し、必要に応じて新しい事業に取り組んでいくことが必要となります。

また交流会には豊中に転居してきた方で、以前読み聞かせのボランティアとして活動していたが、豊中でも始めたいという方や、これから子ども文庫を始めたいという方の参加がありました。今後はこれから活動を始める方も参加しやすいようなPRが必要となります。実施計画最終年度にあたる平成21（2009）年度は地域交流会の締めくくりの年ともなり、計画終了後の交流会の在り方も含めて推進連絡協議会やワーキンググループで討議を行う予定です。

# 平成20年度(2008年度)子どもと本をつなぐ地域交流会

	南部	東部	中部	北部
日時	平成20年(2008年) 11月6日	平成20年(2008年) 11月27日	平成20年(2008年) 12月19日	平成21年(2009年) 1月22日
参加人数(うち運営に関わったWGメンバー)	23(7)	32(5)	35(9)	31(6)
参加者のおもな構成	ボランティアグループ6、学校司書、保健師、障害児通園施設保育士、民生・児童委員など	ボランティアグループ10、子ども文庫4、保健師、民生・児童委員、書店など	ボランティアグループ14、子ども文庫3、学校司書、保健師など	ボランティアグループ11、子ども文庫2、保健師、学校司書、主任児童委員など
当日の内容	活動紹介 障害児通園施設保育士、保健師(庄内保健センター)、学校司書、おはなしボランティアグループ討議 団体一覧作成	活動紹介:小学校での読み聞かせボランティアグループ、保健師(千里保健センター) グループ討議 団体一覧作成	昨年度からの振り返り 活動紹介:中学校学校司書、国際交流協会 グループ討議 団体一覧作成	活動紹介:学校司書、おはなしボランティア、保育士、障害児通園施設保育士、国際交流協会ボランティアグループ討議 団体一覧作成
討議のテーマ	「地域を見つめる」(豊中市の地図に活動を書き込むこと等により、課題などを探る)			
当日のアンケートより	子どもの本にかかわる人がこんなにたくさんいる事、はじめて知りました。多くの人の話が聞けてとても勉強になりました。	他グループのお話を聞いて、今後の活動に役立てる。	子ども達に愛情を持ってかなり前から活動していらっしやることに感服しました。ゲーム機、ケータイ、メール、サイト、テレビなどのあらゆる刺激が多すぎる中、活字離れでなく、主体性をもって本を読み楽しむ子どもが増えることを希望します。	新しい分野の方が広報を見て参加してくださいました。これからは交流会の和が広がっていけば子どもたちにそれがかえっていくように思います。
	はじめての参加でしたが、いろいろなお話を聞いてよかった。	同じ読み聞かせ活動でもいろいろな課題があることがわかってよかった。ボランティアとしての責任についても考えさせられた。	普段接することのない方々とゆっくりお話をする機会になり、いろいろな勉強になりました。	人と本のつながりが色々な分野で広がっていることがわかり心強く思いました。
	もっと他のグループの人たちの話が聞きたかった。	今ある形がすべてではなく、様々な状況の中で活動されていることも改めて知った。皆さんがされている取り組みが一人でも多くの方に知ってもらえるといいと思った。	今回は課題について分野の違う方から話が盛り上がった。連携をとっていくということの実践ができ、心強く思う。このつながりを地域支援の中で生かしていきたい。	たまに図書館に来る子についてはこのような受け皿があるので、心配しないが、不幸にしてそのような環境にない子どもたちにこそ接する機会を与えてあげたい。
	他の団体のお話が聞けて参考になりました。	学校司書とのつながりをもてる場があればいいと思う。	活動していける場所があればボランティア活動をしてみたいです。	いろいろな立場の方のお話が聞けて良かったです。
	前年度に比べ参加者が少なかったのが残念でした。人数的には、ゆっくり話ができよかったと思います。	他の学校、他の地域の活動がわかってよかった。また参加したい。	この交流会が定着していったら、豊中市内の読書にかかわる人との交流が増えたらと思います。	問題ばかり上がり、解決にいたらなかったことが残念。

WG: 子ども読書活動推進連絡協議会ワーキンググループ